

岩国市長 福田良彦 様

錦帯橋を世界文化遺産に推す会

会長 川畑道子

要望書

錦帯橋を世界文化遺産に推す会は、平成26年3月に発足し、鋭意活動して参りました。その間賜りましたご指導ご支援に対し、篤く御礼を申し上げます。

この度、萩市の松下村塾など5件を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録され、山口県に初めて世界文化遺産が誕生しました。お慶び申し上げます。

また、平成28年度の世界文化遺産の登録候補「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に続き、平成29年度は「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」と決まりました。このような状況のもと改めて足下を見つめ直し、錦帯橋の世界文化遺産登録の早期実現を期し、要望致します。

平成27年10月9日

記

I 錦帯橋の世界文化遺産登録の暫定一覧表掲載に向けた課題の早期解決

錦帯橋の世界遺産登録の「暫定一覧表」記載のため、文化庁が課題を提示して既に7年が経過しました。課題を適切に可及的速やかに処理されるよう要望致します。

II 山口県と岩国市が連携する錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会の設立

世界文化遺産登録は、ユネスコの世界遺産委員会や国際記念物遺跡会議の厳しい調査・審査に対応しなければなりません。そのため、山口県・岩国市合同の錦帯橋世界遺産登録推進協議会を設置し、緊密な連携のもと、積極的に取り組まれるよう要望致します。

III 現行の登録申請名「錦帯橋と岩国の町割」の変更

岩国市の世界遺産登録申請名は、「錦帯橋と岩国の町割」であります。錦帯橋は「第2・3・4橋が木組みのきょうろくけた拱肋桁に成る世界唯一のアーチ橋である」（登録基準i）、その技術を340年間忠実に伝承している技術遺産（登録基準vi）であることに特化した登録申請名に変更され、相応しい内容に改変されるよう要望致します。

IV 錦帯橋を持続的に保全し、文化遺産として守るための政策と環境の整備を要望します。

1 錦帯橋の研究と真価の理解を促すため錦帯橋資料館を建設する。それは単なる資料展示だけでなく、錦帯橋の架け替え技術を後世に引き継ぐ技術伝承室を付設し、錦帯橋の模型を組み立てる等内外の愛好者のメッカとする。

2 錦帯橋の架け替えに必要な技術者の育成は最も肝要な問題です。岩国市独自のマイスター制を制定し、技術者を育成する。

3 横山地区の文化財として、吉川報效会や吉香神社がそれぞれ有する「白壁の蔵」並びに白山比咩神社の神殿裏側の精緻な「石垣」と岩国城址の「石垣」を精査し追加指定されることを推奨します。

昨年の要望事項と重複する事項もありますが、錦帯橋世界文化遺産登録が速やかに実現することを願い、要望致します。

以上。

平成27年10月9日

市民の皆様へ

錦帯橋を世界文化遺産に推す会

会長 川畑道子

錦帯橋世界文化遺産登録運動へのご協力と資料提供のお願い

私たちは、錦帯橋を世界文化遺産に推す会を平成26年3月に立ち上げ、錦帯橋の世界文化遺産登録を目指し運動して参りました。その間、賜りましたご指導ご協力に対し篤くお礼を申し上げます。

この度「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産として登録され、萩市内の松下村塾を含む5件が世界文化遺産となり、山口県に初めて世界文化遺産が誕生しました。次は錦帯橋の出番です。

この度岩国市に対し、錦帯橋の世界遺産登録の課題を適切に可及的速やかに処理されるよう要望しました。

錦帯橋を世界文化遺産に推す会の今後の方針として、

1 錦帯橋はなぜ架けられたのか 2 錦帯橋（中央3橋）はなぜ木組みのアーチ橋なのか
3 独創的傑作の錦帯橋を創建した技術はいかにして成り、継承されてきたか 4 錦帯橋は後世にどのような影響をもたらしたのか等市民の知恵と力を出し合い、仮称『錦帯橋の独創性と技術の伝承』の冊子を編纂発行し、山口県や関係省庁へ提出し「錦帯橋を世界文化遺産登録」の要望をしたいと考えています。

錦帯橋は（1）士民の心の結束の象徴の城門橋として、（2）立地の自然環境に融合した建造物として（3）領主の意志を示す文化財として（4）吉川家が長年にわたり集積した地政学的技術により創建されたものと考えられます。このような考察を裏付ける市民各位の「錦帯橋の特異性や歴史的事実について資料」等を募り、仮称『錦帯橋の独創性と技術の伝承』を充実したものとしたいと存じます。

なにとぞ、ご協力のほどお願い致します。

※ 資料や用件がございましたら、下記へご連絡下さい

連絡先（編纂資料：担当）

錦帯橋を世界文化遺産に推す会

幹事長 原田俊一 TEL 080-6266-4718

事務所：岩国市横山2-7-3

吉川史料館内 TEL 0827-41-1010